



# ながえの里だより



コロナウイルス禍

院長 村尾 文規

呼吸器をはずされる人のあるという心に濁(おり)をとどめし日々

新型コロナウイルスが猛威を振るい感染者の急速な増加に伴い呼吸器が不足して、高齢者の使用している呼吸器をはずして若い人に付け替えるという報道があった。現代版の姥捨て山である。聞くところによると重傷者は激しい呼吸困難に襲われ死の恐怖を体験するという。その呼吸器をはずすというのだ。身につまされる思いで聞いていたが、イタリアでは、この話が現実のものとなっていたと報じている。マドリードに住むオスカール・アローさん(47歳)のもとに父親の入院先の病院から一本の電話が入った。お父さん(80歳)を死なせることを許してくださいというのだ。聞けば、お父さんの呼吸器を若い患者に譲ってほしいというのである。命の選別が、すでに始まっていたのである。猛威を振るう新型コロナウイルスの前に 成すすべもないというありさまである。やりきれない、重い気分が濁となって心のなかに滞っているのはわたしづかりではないであろう。生きることを諦めさせる使命などだれにもないはずだがそれほど現場が緊迫しているということだ。人々の生活は非日常と化した。

このウイルスは、容赦なく医療機関にも侵入して院内感染を引き起こし医療崩壊寸前まで追い込んだばかりではなく、人々の行動も規制され外出も制限された。密接、密集、密閉の禁止、感染するな、感染させるなとお互いの行動を見張る。その結果 謹謹中傷、差別化にも発展した。民心も荒んできた。医療従事者に感謝しようといながら、一方で感染を怖れるあまり医療従事者やその子供たちをテリトリに入れないようにしたし、一部の医療機関ではウイルス感染患者の受け入れを拒否することも報じられた。まさに戦時中さながらの世相である。この殺伐とした世相のなかで朝日新聞の歌壇で篠原敏則氏の一首『いい人生であったと人工呼吸器を若者に譲り逝し老女よ』が目に留まった。心の濁が少し晴れた思いで、ふーと息を吐いた。生き佛様のような方がおられたということだ。仏教の根本教理によると未来にどんな結果が得られるかは、現在の『因縁』を考える。『因縁』は、言葉によって、身体によって、そして心によって作られるという。今日の行動がどのような因縁となり、将来どのような『果』を生むか、もう一度思い返してみることだ。人は独りでは生きてはいけない存在なのだから。心を緩めれば、このウイルスは、必ず、反撃てくる。会いたい人にも会えないまま時間だけが過ぎ去っていくが、それでも終わりはきっとくる。そう思いたい。



日本医療機能評価機構 認定病院

庄原同仁病院

庄原同仁病院介護医療院

広報誌 第37号

発行 庄原同仁病院広報新聞委員会

〒727-0203 庄原市川北町890-1

Tel: 0824-72-7300 Fax: 0824-72-7333

e-mail doujin@sweet.ocn.ne.jp

URL http://nagaekai.com/

患者様ご家族の方へ

この度は新型コロナウイルス感染対策の為、面会を制限させていただいております。ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけし申し訳ございません。

ご協力に心より感謝いたします。

病院スタッフ一同

職員投稿4コマ漫画 Part1



看護師  
木村妙子

## 基本理念

わたくしたちは、すべての人に等しく  
仁愛の精神をもって接し、  
心の通う医療の実践に努めます。

## 基本方針

患者様の満足: 常に患者様の立場に立って行動します。  
職員の満足: 働きやすく、やりがいのある職場づくりに努めます。  
地域の満足: 医療サービスを通じて地域の方々に喜ばれるよう努めます。

## 認知症委員会の取り組み



### 第1回「気分を変えよう会」 認知症委員 福光 登紀子

認知症委員会では、いつものレクリエーションを違った雰囲気の中でできないかと思い企画しました。

題して「気分を変えよう会」 環境を変えることで刺激を与え、笑顔を引き出すことが目的です。新型コロナウィルスの影響で、面会が中止になり、今、制限がある中で家族に会えず、寂しく不安な思いをされている患者さんに少しでも笑顔になっていただこうと考えました。

外での活動を考えていましたが、梅雨に入り最悪の雨模様、室内で梅ジュース作りに挑戦しました。

「立派な梅じゃねー」と話をしながら、慣れた手つきで梅のヘタをとり「おいしくなれ」とピンの中に梅と氷砂糖を入れる。

そして、晴れたらと計画していたシャボン玉を外に向かって飛ばしました。シャボン玉が目の前に来ると、自然と手が出る足が出る。笑顔と笑いにあふれ、いつもと違う患者さんの姿を見ることができました。

認知症委員会では認知症状について勉強会を行っていますが、こういった活動も認知症を知る上では、大切な活動と考えています。患者さんと一緒に出来ることをこれからも企画し、心も体もリフレッシュていきたいと思います。



このお茶は  
おいしいね～  
もう一杯もらおうかね



## アクティビティ委員会の取り組み



### 家庭菜園

### アクティビティ委員 谷本 敦

5月28日(木)利用者さんと一緒にミニトマトの苗を植えました。

利用者さんにはいろいろな作業を手分けして行ってもらい、まずプランターへ土や肥料を移してもらいました。次に苗のポットから土へ植え替えてもらい、支柱の設置も行ってもらいました。畑仕事が得意な利用者さんも多く不慣れなスタッフに色々指導していただきました。植え終わったプランターは見える所に置いてあり、レクリエーションなどへ向かう利用者が毎日見ていますミニトマトの成長を感じておられます。

コロナウィルスにより面会などできず利用者のストレスも増していると思いますが、少しでも気分転換の場を提供できるように今後も同様の行事を行っていきます。最近トマトの実も色づき始め、利用者の口に入るのを楽しみにしています。



## レクリエーション係の取り組み

### ペーパーフラワー

### レクリエーション 岩見 典子



先日、赤いペーパーフラワーを使って、昔を思い出しながら梅干し作りゲームをしました。

コロナウィルスの影響で面会禁止となり、ご家族に会えない患者様に、私たちレク係ができる事は何だろうと考えた時、やはり笑いのある楽しい時間を過ごしていただき、その瞬間だけでも淋しさを和らげる事が出来たらと思います。

ご家族のお顔には遠く及びませんが、これからもその思いと共に日々頑張って行こうと思います。

これからも、地域の方々から選ばれる病院・施設を目指し、精進してまいりたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。





## 作業療法士の役割

皆さんは作業療法士と聞いてどのような仕事を想像するでしょうか。

私は、実際の生活をみて患者さんや介護スタッフの困っていることに気づき、生活をより良くする為に訓練や道具・環境の工夫をすることが作業療法士の役割だと思っています。今回はその中の道具の工夫について紹介します。

① 食事中に姿勢が徐々に傾いて食べにくいという患者さん。背中用クッションを作成し姿勢を保てるように。



② 普通の車椅子に座ることができる患者さん。眠たくなると頭が後ろへ倒れてしまうことが問題…そこで塩ビパイプとクッションを組み合わせ、車椅子用枕を作成。これは大工仕事が得意な患者さんとリハビリ目的で一緒に作成しました。



③ 「身体が硬くて靴に手が届かない」という患者さん。靴の踵部分にリングを付け、100円均一で見つけたフック付き靴ベラを使用すると、一人で靴を履いて車椅子で出かけられるように。



④ 空き時間にトランプをする患者さん方。片麻痺の患者さんが膝の上に広げてやりにくそう…箱にトランプを立てると相手に手札を見せずできるように。



作業療法士 藤原 菜津美

## お祝い膳のメッセージカード



私は文章を書く事は好きですが、字が汚いのがコンプレックスです。

2年前、突然主人が他界し、寂しい日々を過ごしていました。そんな時、偶然、伝筆（伝える筆と書いて「つてふで」）に出会いました。（まさに運命的な出会い）思いを文字にして伝える（天国の主人につたわるかなあ・・・？）

書いていると、どんどん楽しくなり、もっともっと書きたいと思い、お祝い膳に「おめでとう」のメッセージを書きたいと提案したら賛成してもらい添えることにしました。患者様や家族の方から「ありがとう」「すてき・すごいね」の声を耳にしてうれしく思い、お調子者の私は、年賀状・お花見弁当の表紙にも挑戦しました。

これからもいろいろなメッセージを筆で伝えていけたらと思います。

栄養士 松原 まゆみ

## 病院機能評価認定更新

### 「病院機能評価認定の更新から6ヶ月」

昨年10月に病院機能評価の2回目の更新を受け、12月に無事、認定通知を頂きました。病院機能評価とは、第三者評価機関から各専門領域（診療管理、看護管理、事務管理）の知識と経験を有する評価調査員の方が病院を訪問し、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的・科学的・専門的な見地から当院を評価して頂くものです。

評価項目についてS・A・B・Cで評価され、C項目があれば改善しないと認定はもらえません。おかげさまで3回の受審ともにC項目はありませんでした。

当院の機能評価を受診する本来の目的は、評価や質の改善に向けたアドバイスを受けることにより、基本方針に掲げている患者様の満足、職員の満足、地域の満足が得られる病院にしていくためのものです。

認定を受けてから半年が経過しましたが、このコロナ禍の中、いかに患者様やご家族の安全と安心を確保していくか、そのために常に改善を図りながら、病院機能評価の認定病院として、皆さんに信頼して頂ける病院を目指して、日々精進していきたいと改めて思います。

事務長 西村 美智子

## 入院患者様満足度アンケート結果

## サービス向上委員会

令和2年6月に、サービス向上委員会による、「入院患者様満足度アンケート」を入院者様を対象に実施しました。

アンケートは聞き取りで行い、32名の方からの回答をいただきました。

【質問】食べたいものがありますか？

鶏肉、タケノコ、こんにゃく、特にない、ピーナッツ、メロンが美味しかった、漬物、豆腐に醤油がかけていない、

牛肉、刺身、たらこ・ウニ・タコ・イカ・ししゃも、唐揚げ、揚げ物、酢の物、饅頭、おはぎ、刺身、思いつかない

【質問】おやつはどうですか？

今のままで良い、美味しい、もう少し大きい物か数多ければ、ちょうど良い、普通のおやつにしてほしい、少ない

【質問】入浴時に不安を感じませんか？

ベッドからの移動、感じない、不安はない、不安はない時もある（痛い想いをする）、時々不安有り、不安あり

【質問】リハビリについて要望がありますか？

ない、特にないがゆっくりして欲しい、足を揉んでいたのでまたして欲しい、週3回くらい押し車で歩いていた、

もう少し強く揉んで欲しい、特にない、丁寧にしてもらっている

【質問】レクリエーションについて要望がありますか？

ない、特にない、普通（楽しい）

【質問】看護・介護について要望がありますか？

ない、特にない、これまで通りで良い、ここで良くしてもらっている為希望はない

【質問】その他要望がありますか？

ない、特にない、トイレが空いていない時座る為廊下に椅子（丸椅子でも）があれば良い

【質問】接遇について

良い 普通 良くない 回答なし

挨拶	19	11	0	2
表情	19	11	0	2
言葉使い	21	9	0	2
態度	20	10	0	2

患者様から頂いた貴重なご意見を、各部署、委員会でこれからのサービス向上のための参考にさせていただきます。

職員投稿4コマ漫画 Part2



## フレッシュなスタッフが急増中！



看護部 医療病棟 檜高りか・宍戸香織

上垣 仁

横山結衣

白濱園江



お詫び  
看護部は病棟で撮影したため、院内感染対策のため、マスクを着用しての撮影になりました。

栄養課 高木尚美／看護部 介護病棟 白石萌華／医療病棟 武谷ルミ

画 看護師 木村妙子

## 編集後記

今年は、新型コロナウイルスで世界中が大変な事になっています。

いろいろと制限されて家にこもっている日々が多くなりました。自分はプライベートで使おうとマスクを家で作っていました。あとは軽い運動もしていました。元の生活にはなかなか戻らない状況ですが、我々が、今出来る事で一生懸命頑張っていきましょう。必ず元の生活が戻ってくるはずです。前に述べた軽い運動してからは、以前より2~3kg痩せることができます。あともう少し運動を頑張って痩せてみようと思います。

この度、新型コロナ対策多忙につき春夏合併号としました。

山吉広尚

